

交通サービス振興特別委員会記録

日時 令和2年1月14日(火) 午前11時
場所 日田商工会館 議員サロン
出席者 会 頭 十時 康裕
担当副会頭 河津 龍治
委員長 諫山 吉晴
副委員長 湯地 雅夫
委員 角 弘起、武内 眞司、小ヶ内聡行、渡辺 祐司、梶原 智敏、
和田 誠、合谷 文彦、三枝 義徳、加納 信男、平川 好美、
諫山 安雄、森山 隆史、石松 寛善、中山 深、田邊 康宏
事務局 樋口 恒成、桜木 幸恵、佐藤 駿

- 議 題
1. タクシー案内板利用について (報告)
 2. 新年度の委員会活動について
 3. その他

議事内容

定刻となり開会。諫山委員長、河津副会頭より挨拶がある。

1. タクシー案内板利用について (報告)

事務局より、昨年度より継続実施中のタクシー案内板の利用状況調査事業について報告。初年度に比べれば、利用件数は伸びてきている。しかし、潜在的な数字はまだ多いと思う。委員長より、案内板の利用状況調査事業に関しては一定の効果を得たものとし、今年度をもって終了としたいと思う。4月以降の案内板設置については、タクシー協会と改めて相談するが、できれば継続設置をお願いしたいと思う。また、これまでの協力と今後の協議の為の懇談会を開催する旨の提案がなされる。

2. 新年度の委員会活動について

委員長より、新年度の委員会活動について何か提案がないか委員に諮る。

- ・タクシードライバーのマナーが悪いと感じるが、人手不足もあり、社長はなかなか指導しにくい状況のようである
- ・タクシー業界は観光の看板でもあるのでしっかりと教育してほしい
- ・日田～大分間の高速バスの利用は1日20～30人ほど
- ・豆田町の一方通行を進めてほしいが、地元の賛成がなかなか得られない 等の意見がある。

委員長より、新年度事業として「ひたはしり号」の検証を行い、改善提案等掘り下げてみてはどうだろうかという提案があり、委員の承認を得る。

その他、観光振興大会に参加してはどうかと委員長より提案がある。以前の観光交通特別委員会として活動していたころは観光振興大会に参加していた。次年度は沖縄、再来年度は松山で開催される予定である。観光振興大会に参加し、その地域の交通サービスについて学ぶことが出来るかもしれない。今後、検討していきたい。

以上により、会議を終了した。

(11:40)